

(AO入試Ⅰ)

令和2年度入学試験問題

小論文

(農学生命科学部 食料資源学科)

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
2. 印刷の不鮮明な箇所等がある場合には、申し出ること。
3. 解答用紙2枚と下書き用紙2枚を別に配付してあるので確認すること。
4. 解答は、解答用紙に記入すること。解答用紙以外に記入したものは無効である。
5. 解答用紙の一つのます目に一文字ずつ入れること。数字・アルファベットの場合も同様とする。
6. 解答用紙の指定された欄に、学部名及び受験番号を記入すること。
7. 配付された解答用紙は、持ち帰らないこと。
8. 配付された問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ること。

問題

次の文章と図を読み、各問に答えなさい。

著作権の関係上、省略します。

*1: GABA とはストレスを和らげたり, 血圧上昇を抑えたりする働きがある成分である。

*2: この日付は記事が掲載された月である。

著作権の関係上, 省略します。

図 1. 食品の遺伝情報を変える方法と規制等のルール

出典: 朝日新聞 2019 年 7 月 9 日「ゲノム編集食品 食卓へ」を参考に作図した。

- 問 1. 図 1 は食品の遺伝情報を変える方法と規制・表示のルールをまとめたものである。従来の品種改良型食品および遺伝子組み換え食品と, ゲノム編集食品の違いが分かるように, A ~D の各方法の仕組みを 300 字以内で説明しなさい。
- 問 2. 同じゲノム編集でありながら, B と C ではルールも表示の有無も適用が異なる。その理由を考え 200 字以内で記述しなさい。
- 問 3. 食品におけるゲノム編集技術の利点と問題点, ゲノム編集食品を利用するための課題について, あわせて 300 字以内で記述しなさい。